

今月の一枚



俱会一処式で五十年ぶりに遺族にお骨が戻る（9月12日、順慶寺本堂にて 岡川経康氏撮影）

◆◆ 俱会一処式 ◆◆

順慶寺では、毎年祠堂法要の日に、五十回忌を迎えた方で、順慶寺に納骨された方の遺族に来ていただき、本堂でお骨を返却し一緒にお参りをしてから、納骨堂にある共同埋骨処に納骨していただく。中には感無量で涙ぐむ遺族もある。

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2021年（令和3年）

10月号

VOL.336

◇ 名利に目がくらむこと ◇

今月の釈尊の言葉も、『ダンマパダ』（法句経）からの出典です。

「一つでも道理をはずれたことを行ない偽りを語り

来世を無視する人

かれはどんな悪事も行う」（第一七六偈）

今月の言葉は、人は名利（名譽と利益）に

目がくらみ悪を恐れなくなったとき、最も恐ろしい存在となる。それは、道理を外れた行いや嘘偽りから始まると、釈尊は諭されます。

今回の由来は、有名な逸話の中にあります。かつて釈尊が人々から名声を得て、多くの仏弟子が集まるのを羨んだ異教徒の人々が、天女のように美しい女性・チンチャーを使って釈尊を陥れようとした。異教徒に依頼されたチンチャーは策を練り、

「私は釈尊の子供を身籠もった。それは、あなたと私にしか分かりません」

と、①祇園精舎で説法をする釈尊の前で、人々に言いふらしました。しかし、ざわつく



今月のブツダの言葉

道理をはずれ嘘をつき

先のことを考えねば

どんな悪事も怖くなくなる



若院のテーマカット NO.30



人々をよそに、釈尊は説法を続けました。

数ヶ月後、再びチンチャーはお腹に木片を赤布でまいた姿で妊娠したように見せかけ、釈尊が説法をするところを見計らって現れました。当初、その姿をみた人々は驚き、チンチャーのことを信じ、釈尊を軽蔑しましたが、やがて、木片はチンチャーの足下に落ち、真実が白日の下になると、人々はチンチャーを蔑み、石や棒を手にはチンチャーを祇園精舎から追い出しました。

そして、翌日釈尊のもとに集まった人々にした説法が今回の言葉でした。

◆身の事実を教える智慧◆

かつて、仏教学の権威である横山紘一先生の講義に出席しているとき、横山先生が、

「私たちが最期まで捨てきれないのが名利です。年をとってもなかなか捨てられないのです」と

と話しておられたのを覚えています。年をとったからと言って、名利心はなくなるものではない、との言葉はかなりショックでした。

親鸞聖人は、主著『教行信証』の中で、有名な一節を残しています。「悲しきかな愚禿鸞、愛欲の広海に沈没し、名利の大山に迷惑して、定聚の数に入ることを喜ばず、真証の証に近づくことを快しまざることを恥べし、傷むべし」（信巻）

親鸞聖人が生涯をかけて書き残さ

①【祇園精舎】

祇園精舎（正式には祇樹給孤独園精舎）は、インドのコーサラ国首都シュラーヴァステイー（舍衛城）現ワタル・プラデーシュ州シュラーヴァステイー県にあった寺院。天竺五精舎（釈迦在世にあった五つの寺院）の一つ。

②【教行信証】

は釈尊もしばしば足を運び、在世中に十九度雨安居を過ごしたと伝えられる。親鸞聖人「自身の代表的な著作。正しくは『顕浄土真実教行証文類』。元仁元年（一二三四）の成立とされ、浄土真宗の根本聖典。教巻、行巻、信巻、証巻、真仏土巻の五巻で、『仏説無量寿経』をはじめ諸経典や高僧の解釈を集積検討して、浄土の真実を明らかにし、第六の化身土巻で浄土の方便を説いた。

れた『教行信証』信巻の中で、つねに如来の大悲心が我が身に到り、深い慶びとともに信心を頂かれたのですが、同時に、ご自身の内面では、

「悲しいことですが、愚かな私・親鸞は、愛欲の深い世界に溺れ沈み、名利の大きな山に迷って惑い続けています。つねに如来からの信心を受けているのにその仲間に入ることを喜ばず、真実のさとりに近づくことを楽しまない。まことに恥ずかしく、傷ましい限りです」（同・語訳）

と述懐しておられます。

私たちには、どこまでも深い名利心があつて、自分に都合のよいことを繰り返して、嘘やその場限りの言葉を続けて悪をつくります。ところがそれはやがて辻褄が合わなくなる。親鸞聖人は、こうした身の事実を教えて下さっているように思います。

念仏を欲ぶ人 妙好人の世界

[第109回]

《味おうてくれ》
ものだね きちべえ
物種 吉兵衛
(17)

《よきようになさるワヤ》

堺の妙好人・吉兵衛。西方寺・元明師と出遇い、深く教えを頂く身となりました。元明師が亡くなる前、大和の妙円寺の住職に教え導いてもらえとの遺言をいただきました。

妙円寺住職は、元明氏と学友だったこともあり、学識の深い人でありましたがすでに高齢でした。やがて妙円寺住職も大病にかかり、兵衛門という同行がはるばる和泉からお見舞いに来て、当時同行の間で有名になっていた、吉兵衛とばったり出遇

いました。兵衛門があまり浮かない顔をして、

「今、妙円寺様のお見舞いに行きました。御院主様は、今死んだら今、後死んだら後、何時死んでもお浄土へ参らせてもらおうと仰せられていました。私は、あのような按配に飲べません」

と、吉兵衛に話しかけました。

「あの方は、お浄土からお出ましになられたお方である故にあう言えるのじゃ。お前や私は、地獄から這い出した者や故そのようなことが言えてたまるかや。さりながら、如来様の御支配のものや。よきようになさるワヤ」

と応えたそうです。

兵衛門は、それを聞いて、心が軽くなり勇んで帰ったといいます。

《第十八回 歴史に学ぶ》

先日、遠隔で大学の講義に出席していると、仏教の歴史を学ぶ講義で思わずハツとさせられました。

仏教の歴史では、学ぶだけでなく、仏教ができてきた歴史に学べと。さらに広く、歴

お寺とともに

職人技



今年は庭師さんのはからいで、お彼岸の時期に早めの剪定をしていただきました。

梅雨から夏の暑さでボーボーに伸びきった枝葉をザクザク切って頂くと、本当にさっぱりとして秋を迎えることができます。数ある境内の木々の中で、いつもお化けのように繁るヤツデの木があります。実は、間には自分でも木々を剪定することがあるのですが、邪魔に感じる枝をホイホイと切るだけなので、姿形は二の次になる時もあります。

それがどうでしょう、庭師さんの手にかかると、まるで生花のように枝振りが美しく、生き生きと輝いて見えます。庭師さんの職人技が光るビフォーアフターでした。

「型にはまらない」「型破りな」ことが持てはやされる昨今ですが、様式美を改めて思い知ることができていた。



祠堂法要写真館



俱会一処者の納骨堂への埋骨（岡川経康氏撮影）



感染予防をする総代（右）、祠堂法要焼香（左）（岡川経康氏撮影）

緊急事態宣言の中 祠堂法要が勤められる

コロナのため法話を自粛し特別措置実施

さる9月12日午前9時半より、順慶寺にて祠堂法要並びに俱会一処式が勤められ、コロナの緊急事態宣言の中、多くの参詣者が順慶寺に参詣しました。昨年（2020年）に続き、今年の祠堂法要もコロナ特別体制での法要となり、午前中に三十分ずつの読経で三回転する日程となりました。

当日は、曇り、気温も高くなく、窓を開けた状態で丁度良い日和。空気を清浄機、加湿器、大型扇風機などを整備し、アルコール消毒や検温、マスクの徹底をお願いする体制で、感染対策を十分施した上で法要を実施し

ました。午前9時半より今川・三河地区、午前10時半より泉田・尾張地区、午前11時半よりそれ以外の方と俱会一処式を迎える方に区分し、参詣と焼香をお願いしました。

本堂の様子を玄関庫裏に配信

法要では、本堂に三十五席、玄関に十五席、庫裏に二十席イス席を準備。本堂の模様を玄関、庫裏に映像を配信

する形を取りました。各回とも本堂と玄関は参詣者でほぼ満席の状態。法要の読経前に責役・総代から挨拶。その後読経。読経中、本堂の方から焼香を始め、本堂の方が終わると玄関、庫裏の皆さんが順に焼香をされました。焼香後、毎回住職が法要の意義を説明しました。

コロナ禍の中とはいえ、多くの皆さんが仏縁を大切に参詣をされ、まことに有難いご縁となりました。

ことにより有難いご縁となりました。

編集部短信

◆寺カフェ実施決定―9月15日に実施された教化検討委員会にて、昨年の総代会に続き、有志による寺カフェの開催を正式に了承。代表に小林正典氏を選出。その後の打合せで、共同代表に岡川経康氏、佐野真澄氏が選出された。順慶寺は後援にまわる。

◆住職から教化ロードマップ呈示―同じく教化検討委員会にて、住職から、今後十五年に亘る長期の教化展望（ロードマップ）が示された。その一環として、子供会、寺カフェなど個々が楽しめる内容の充実、宗祖御誕生八五〇年法要への展望も含まれた。

◆ホームページリニューアル―祠堂法要を前に、9月6日順慶寺のホームページがリニューアル。QRコードは下図。



境内クスノキの根元に営巣

オオスズメバチを退治

9月に入って、順慶寺境内の入口にあるクスノキの根元にオオスズメバチらしきハチが入り込むのが発見されました。

祠堂法要を前に、参詣者の安全を確保するため、やむを得ず専門業者により、薬剤を注入し五〇匹を超え、オオスズメバチを退治し、巣を撃退しました。



捕まったハチ（左）、薬剤注入（右）

◆境内の剪定終了―9月20日より順慶寺境内の庭木の剪定が翠保造園さんによって実施された。



剪定をする庭師さん

編集雑記

「あなたが住職になって何本の木を枯らした？」と総代から注意されたことがトラウマになり、今まで大木ができるだけ枯れないよう心がけてきました。ところが、大雨などの影響で、境内のクスノキの根元の土が流れ、クスノキが弱って穴が空き、そこにオオスズメバチが巣を作っていました。オオスズメバチを退治しないと危険ですし、殺虫剤を使うと

9月度護学会物故者

慈敬院釋鎮静

9月3日寂 相木鎮夫（64）

近崎組 相木好永様の弟

釋尼妙芳

9月11日寂 三浦芳子（84）

名古屋市 三浦賢一様の母

木が傷みます。都合で命の選別をするのが悪人だと自覚しました（住）。

.....

先日、コロナワクチンの二回目の摂取をしました。副作用があると聞いていたのですが、いざ自分の番になると想像以上に熱が出てびっくりしました。抗体がこれでできているのかなと思いつながら、二日ほど不安でしてしまいました（若）。



10月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	金		
2	土		
3	日		
4	月	コロナ対策により、諸活動は自粛中 今後、感染状況等により自粛内容 の変更もあり得ます	
5	火		
6	水		
7	木		木-1
8	金		
9	土		
10	日		
11	月		
12	火		
13	水		
14	木		木-2
15	金		
16	土		
17	日		
18	月		
19	火		
20	水	教化検討委員会(14:00、順慶寺本堂)	
21	木		木-3
22	金		
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺にて内勤め)	木-4
29	金		
30	土	報恩講事前連絡会(19:00、順慶寺本堂)	
31	日		

10月行事内容 詳細

教化検討委員会(第七回)

10月20日(水)

午後2時 順慶寺本堂

順慶寺の例会などコロナ後の教化事業において、様々な検討を加える教化検討委員会の第七回目が開催されます。

今回は、先に示された、住職の教化指針ロードマップに対する検討、有志による寺カフェの実施方針の検討などをする予定です。寺カフェについては、詳細が決まりましたら、別途紙面にてご報告いたします。

泉田同行役員総会について

泉田地区の真宗門徒でつくる泉田同行は、所属寺院を越えて本山のお取持ちを門徒主導で行ってきました。ところが、昨今の家のあり方の変化から、家と家と結びつけていた講などのあり方が難しくなり、各地で講や同行の存続が危ぶまれています。そこで、泉田三ヶ寺共同で、泉田同行の今後のあり方について、左記の日時に協議することになりました。

記

《泉田同行役員総会》

日時：11月15日(月) 午後1時

会場：順慶寺本堂

対象：泉田同行役員(本山世話)

お知らせ

●来年四月より例会等順次再開
コロナの影響により、昨年より休止しておりました順慶寺の例会ですが、新年度より状況整った会から順次再開することが、本年九月の教化検討委員会にて決定されました。さしあたって、真宗講座、宗祖聖人御命日は感染対策を施した上で、来年四月より平常開催する予定です。その他の例会については、各例会の委員にお尋ねください。

●十月よりお取越はじめます
本年もお取越(在家報恩講)を始めます。昨年は、十二月に葬儀が重なり、お取越の日程が大幅に遅れたことから、本年は例年より少し早く、十月よりスタートすることにいたしました。参詣地区は、例年通り、名古屋・岡崎・豊田・安城が最初になります。参詣予定のお宅には、事前に日程ご案内をお送りいたします。

じゅんこのときめき歳時記 秋雨

みなさん、9月も終わりになるとだんだん朝晩が涼しくなってきましたね。お変わりありませんか。

今年のお盆は、本日に雨が沢山降りました。一日で八月ひと月分の雨が降ったところや、百年ぶりの大雨になったり観測史上最高の雨量を記録したところもあったようです。被災された皆様には、心からお見舞いいたします。

9月の終わり頃になると、だんだん涼しくなるのと同時に、長雨が続きまますね。ひと雨ごとに秋が深まって、虫の音が響き、木々が色づいてきます。日の暮れも早くなって、な

秋の雨

こんなもやにふりにけり

久保田万太郎

